


中・長期を見据えた HIV ワクチンを目指した研究活動へ
(2022 年 12 月 1 日)

本 SATREPS プロジェクトのベトナムでの活動に関しては、臨床現場、及びそれに直接資する各種検査に関わる活動をこれまで多く紹介してきました。しかし、プロジェクト全体では「基礎研究」と呼ばれる、より中・長期的な視点で科学の進歩に貢献できる研究活動にも力を入れています。プロジェクト目標を達成するうえで発現が求められている 3 つの成果の中で成果 3 と呼んでいるものが、それにあたります。

この成果 3 では、エイズウイルス感染のハイリスク集団の一部が持つと考えられる、ウイルスを認識・攻撃することのできる特殊な T 細胞を探し出し、その免疫防御反応を解析することで、今後ワクチン開発などにも貢献できる研究成果を出すことを目標としています。その解析のためには、これまでに集まった有望なサンプルをしっかりと培養し、さらなる研究につなげることが大事で、今回はハノイでも同様の実験ができるように、日本の専門家にハノイ医科大学で研修をしていただきました。

	
<p>フローサイトメトリー¹を使った実験結果の解析方法を解説する熊本大学の近田専門家。</p>	<p>これまでの解析結果をベトナム・ハノイ医科大学研究者に向けて発表した熊本大学・滝口教授。</p>

実はこの成果 3 の活動については、ここ 3 年間は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、専門家がほとんどベトナムに来られなかったため、多くの実験は日本にサンプルを送り実施していました。新型コロナウイルス感染症が蔓延する中でもプロジェクト研究活動を進めるためにはそれは止むを得ませんでした。今回のようなベトナムでの研修を経て、今後より多くの実験過程がベトナムで実施できるようになることが期待されます。

¹ 不均一な混合液から細胞数、細胞の大きさ、細胞周期などの細胞特性を解析するためのレーザーを利用した技術



JICA-SATREPS プロジェクト
ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と
新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト



SATREPS プロジェクトでは、研究成果を求めつつ、同時に、日越の研究交流技術移転を図れる、そういった努力を引き続きしていきたいと思っています。